

2023 年度事業報告

【事業に関する報告】

I 子ども専用電話・オンラインチャットの開設事業

1 電話受信状況（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

専用電話の開設日は、平日の毎週月曜と水曜に加え、第2日曜の午後4時から9時までの時間帯で実施しましたが、電話回線を原則1回線として対応してきました。

また、ネット電話の試行にも参加しましたが、受信電話は多くはありませんでした。それに加え、今年度は、受け手不足や電話の受信件数の減少を踏まえ、受信体制検討プロジェクトチームを立ち上げ、チャットも含めて、チャイルドライン全体の活動・受診体制について、受け手から広く意見を求めながら、検討を進めてきた結果、電話の受信の実施日を10月から、毎週第2・第4・第5月曜日・第1・第3・第5水曜日（祝日を除く）として、その試行を継続してきました。

2023年度の開設日数は、延べ82日（前年度104日）で、総着信数2,340件（同3,433件）、会話成立は600件（同828件）です。1開設日当たりでは、着信数が28.5件（同33.0件）で、会話成立数は7.3件（同8.0件）です。受信件数に対して会話成立は25.6%でした。

（受信内容は、「資料集」に掲載）

2 オンラインチャット受信状況（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

2023年4月から月3回の実施を進めてきましたが、受信体制検討時は月2回となり、2024年2月から月4回の開設をしてきました。開設日数は延べ33日間（昨年度35日）総割当数1,191件（同1,284件）、対応数502件（同701件）、会話成立数459件（同508件）。一日当たりの対応数は15.2件（同20件）、会話成立件数は13.9件）です。対応件数に対して会話成立は、91.4%でした。

（受信内容は、「資料集」に掲載）

II 研修事業

1 受け手 第19期インターン研修

受け手第19期インターン研修は、4月5日（火）～6月21日（火）の期間で計6回開催。研修生2名がオンライン Zoom にて子どもの現状についての講義の受講や電話ロールプレイ等を行いました。

（受け手第19期インターン研修開催日時と内容は別紙「資料集」に記載）。

2 第20期 受け手養成研修

第20期受け手養成研修は5月8日（月）～6月14日（水）の期間で受講生の募集を行い、5名の方から応募がありました。研修は7月4日（火）に開講式を行い、11月28日（火）までの期間で計11回実施しました。（オンライン Zoom にて開催）。研修生募集に当たっては、北海道新聞をはじめ地元の団体の協力をいただきました。

（第20期受け手養成研修の開催日時、内容は別紙「資料集」に記載）

3 受け手 20期インターン研修

受け手 19期インターン研修は、2024年1月12日（金）より第20期受け手養成研修を修了した研修生3名を対象に、オンライン Zoom にて子どもの現状についての講義や電話ロールプレイ等を行いました。今年度は研修生の減少に伴い、一部の研修については継続研修と併せた合同研修として実施しております。

（2023年度の第20期インターン研修開催日時、内容は別紙「資料集」に記載）

4 受け手継続研修

2023年度受け手継続研修は、5月11日(木)～2024年4月12日(金)の期間でオンライン Zoom や対面研修にて全10回開催しました。

受講者については年度当初28人で開始しましたが、8月以降に受け手として認定された19期生計2人が合流しました。

(受け手継続研修の開催日時、内容は別紙「資料集」に記載)

5 19期認定式及び全体交流会の開催

7月11日(火)札幌市社会福祉総合センターにて受け手・支え手、新規受け手認定者、運営関係者等計20名が参加し、新規受け手の認定及びチャイルドラインほっかいどう全体の意思疎通や情報共有を図りました。

III 広報啓発事業

1 「2023年度カード等全道配布事業」実施報告

チャイルドラインの電話番号(フリーダイヤル)や開設時間などを記載したカードを、道内の小学校、中学校、特別支援学校に通う子どもたちを対象に、約41万枚配布しました。

カードの作成に当たっては、(株)北海道日本ハムファイターズ・ファイターズ基金から小学生用カード27万枚と中学生用カード13.4万枚の贈呈を受けました

配布に当たっては、北海道教育委員会と札幌市教育委員会に事前に協力を依頼し、市町村立校については道内179市町村教育委員会に送付し、道立、国立、私立校には直接送付しました。また、札幌市の児童会館(小学校併設のミニ児童会館を除く)にも配布しました。

発送作業は、札幌市立の304校・約13.9万枚の封筒詰め作業は川口谷代表理事の関係者7人と当会会員9人で行い、札幌市を除く道内178市町村教育委員会分の封筒詰め作業と札幌市役所及び運送会社、郵便局への搬送は社会福祉法人HOP・障がい者支援施設ホップに委託しました。

(カードの配布枚数と経費の内訳等は別紙「資料集」に記載しています。)

【運営に関する報告】

I 会議の開催状況

1 総会の開催

2023年度(第22回)通常総会

2023年6月24日に札幌市ボランティア活動センター研修室Bで開催。正会員数122人のうち本人出席17人、委任26人、書面議決36人により2022年度事業報告、同活動決算報告、同会計監査報告、定款改正、2023年度事業計画、同予算、役員選出(理事の補充)のすべての議案を可決しました。

2 理事会

2023年度は、理事会構成員を中心に「20周年記念事業実行委員会」を設置し取り組みを進めてきたことから、理事会の開催はありませんでした。なお、20周年記念実行委員会の2023年4月以降の開催状況は「4 20周年記念事業」に記載の通りです。

3 運営委員会

開催日と主な協議事項は以下の通り。開催はすべてオンライン会議ZOOMで行いました

- | | | |
|-----|------------|---------------------------|
| 第1回 | 2023年4月20日 | ・20周年記念事業について等 |
| 第2回 | 2023年5月26日 | ・2023年度通常総会の開催について等 |
| 第3回 | 2023年7月26日 | ・第20期養成研修の開及び19期生認定式について等 |
| 第4回 | 2023年8月24日 | ・受信体制プロジェクトの設置について等 |

- 第5回 2023年9月26日 ・会員拡大のための教育・福祉系大学・短大教員へのパンフレット配布について等
- 第6回 2023年11月7日 ・支援センター「全国運営者会議」の報告等
- 第7回 2023年12月7日 ・チャイルドラインカードの全道配布について等
- 第8回 2024年1月23日 ・受信体制検討PTからのアンケート結果について等
- 第9回 2024年2月22日 ・支え手養成研修の開催と支え手認定審査について等
- 第10回 2024年3月19日 ・2024年度通常総会開催に向けた準備について等

4 20周年記念事業実行委員会

- 第3回 2023年4月1日 呼び掛け文の作成、実行委員の追加について等
- 第4回 2023年5月13日 助成金申請（コープさっぽろ社会福祉財団）について等
- 第5回 2023年6月26日 記念講演会の開催チラシ作成について等
- 第6回 2023年7月14日 記念講演会当日の進行について等
- 第7回 2023年8月17日 記念講演会当日の役割分担及び配布資料の作成について
- 第8回 2023年9月21日 講師の交代及び協賛金依頼について等
- 第9回 2023年10月19日 講演会進行の最終確認及び記念誌編集委員会について等

5 チャイルドライン支援センター・エリア関係

●支援センター

- ・2023年6月10日 2023年度通常総会（結成により書面表決書提出）
- ・2023年9月27日 孤独孤立相談ダイヤル説明会
- ・2023年11月5日 全国運営会議（水口）
- ・2023年11月12日 オンラインチャット研修担当者のための研修
- ・2023年12月9～10日 2023全国研修
- ・2024年2月15日 効果的な社会発信を考える研修会（渋谷・水口参加・ZOOM）
- ・2024年3月2日 運営者・支え手研修会

（支援センター助成金事業）

- ・支え手研修 9月10日（金）18：30～20：30 新支え手4名 他3名
講師：田辺等先生 支え手事例検討
- ・コロナ対策助成金（2万円）
アルコール消毒薬、除菌クリーナー、ペーパータオル、マスク等購入

●エリア会議

- ・2023年5月29日 支援センター総会について（田辺代表理事と渋谷運営委員がZOOM参加）
- ・2023年9月30日 （田辺代表理事と渋谷運営委員がZOOM参加）
- ・2024年4月13日 （渋谷理事がZOOM参加）

II 会員等の状況

2023年度中の正会員は、第19期受け手など新加入もありましたが、最終的には1人減となりました。各会員の増減状況は下記のとおりです。退会者の主な理由は、会費未納（2年間）です。

【2023年度各会員数の状況】

	2023年4月初	2024年3月末	加入・退会者	増減
正会員	122人	121人	(加入) 6人 (退会) 7人	1人減
一般会員・個人	16人	17人	(加入) 2人 (退会) 1人	1人増
一般会員・団体	16団体	16団体	(加入) 2団体 (退会) 2団体	増減0
サポート会員	49人	49人	(加入) 3人 (退会) 3人	増減0

Ⅲ その他

1 設立 20 周年記念事業

20 周年を記念し、下記の取り組みを進めるため、理事会を中心に実行委員会を設けて取り組みました。20 周年記念事業に関しては、「コープさっぽろ社会福祉基金」からの助成を受けました。

■講演会の開催

10 月 29 日、かでの 2.7 で設立 20 周年を記念した講演会を開催しました。当日は、会員のほか一般参加者も含め約 100 人が参加し、講演やパネルディスカッションを通し、開催テーマである「子どもに寄り添い続ける」ことの意義を学びました。

講演は、子どもの権利の普及に尽力されている弁護士の内田信也さんから「聴いてもらえる権利」、香山リカさんから「ネット社会の子どもたちー精神科医から見た問題と対策」の二つで、その後、当会の渡邊洋平理事を加え、それぞれの活動分野での意見交換も含めた「子どもたちの生き辛さに寄り添う」と題したパネルディスカッションを行いました。

参加者は 95 人でした。

■記念事業協賛金の募集活動

記念講演会開催や記念誌発行にかかわる経費の確保と、今後の活動を充実させるための財政基盤の安定を図るため、理事等を中心に協賛金の募集活動に取り組みました、その結果、62 団体（個人）から 160 万円集まりました。

■記念誌の編集発行

記念講演会の内容や 20 年の歩み、また関係団体からのお祝いの言葉などを掲載した記念誌を発行し、会員や関係団体などに配布しました。編集に当たっては、編集委員会を設け、作業を進めました。

2 「チャイルドラインほっかいどう支援音楽祭」(札幌トラストライオンズクラブ主催)を開催していただきました

11 月 17 日、札幌市内のホールで「チャイルドラインほっかいどう支援音楽祭」が開催されました。主催は札幌トラストライオンズクラブで、当日は、「喃語（なんご）」「アキオカマサコ」「chikyunokiki（地球の危機）」「S-I C D カニバンド」といった道内で活動しているミュージシャンの演奏があり、当会の川口谷正代表理事によるあいさつもさせていただきました。

札幌トラストライオンズクラブは、これまでもチャイルドライン活動を紹介した DVD の制作など積極的な応援をいただいております、12 月 20 日に行われた同会の例会の場では、音楽祭の収益金の贈呈目録も手渡されました。

3 「道新ボランティア奨励賞」の受賞

道内の地域福祉の向上に寄与しているボランティア団体に贈呈される「第 47 回道新ボランティア奨励賞」に当会が選定されました。北海道新聞社会福祉振興基金がボランティア活動の振興を目的に毎年実施しているもので、過去 5 年以上に渡って社会福祉分野、市民活動分野で積極的に活動してきた団体に贈られる一般奨励賞に、道内 8 団体の一つとして贈呈を受けました。受賞に当たっては、道内初のチャイルドライン立ち上げからお世話になっている札幌市社会福祉協議会・札幌市ボランティア活動協会の推薦をいただきました。

4 支援団体関係

(2023 年)

・5 月 29 日 札幌南ロータリークラブの例会 10 万円の寄付金（水口）

- ・6月12日 札幌レ・リアンライオンズクラブ認証状授与記念式典（川口谷）
- ・9月5日 コープさっぽろ社会福祉基金 活動助成贈呈式（川口谷、早崎）
- ・12月5日 「全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会」（札幌法務局）表彰式（田辺）
(2024年)
- ・1月16日 北海道信用金庫ひまわり財団助成金授与（川口谷、川下）

3 助成金・寄付金

2022年度の助成金、寄付金を受領した団体は以下の通りです。

（助成金）

- ・公益財産法人コープさっぽろ社会福祉基金 300,000円（20周年記念事業）
- ・チャイルドライン支援センター 30,000円（コロナ対策事業）
- ・チャイルドライン支援センター 98,391円（担い手増員のための研修《自死予防》）
支援）

（寄付金・10万円以上の個人、団体）

- ・札幌インナーホイールクラブ 様 300,000円
- ・札幌トラストライオンズクラブ 様 300,000円（20周年記念事業協賛）
- ・北海道労働金庫「ろうきんつなぐプロジェクト」 様 287,000円
- ・道新ボランティア奨励賞（北海道新聞社会福祉振興基金） 様 250,000円
- ・パーティハウス（泰進データウェアハウス） 様 141,415円（募金箱）
- ・札幌南ロータリークラブ 様 100,000円
- ・札幌レ・リアンライオンズクラブ 様 100,000円
- ・㈱小林石材 様 100,000円
- ・長田るり子 様 100,000円（20周年記念事業協賛）
- ・堀川輝男 様 100,000円（20周年記念事業協賛）

現物寄付をさせていただいた方（団体）については、財務諸表の注記に記載しています。

6 募金箱の設置活動

市民のみなさんにチャイルドラインを支援してもらおうと、お店や事務所にチャイルドライン募金箱を設置しています。企画渉外部が中心になって、2024年3月末現在で13事業所（札幌10、函館2、北広島1）のご協力をいただき、募金合計額は216,073円になりました。

募金箱設置個所は別紙「資料集」に記載しています。

7 札幌市子どものための相談窓口連絡会議（事務局・札幌市子どもの権利救済事務局）

2023年9月4日（出席 田辺、古川）

2024年3月7日（出席 田辺）

8 SNSを活用した相談体制の検討事業連絡会議（事務局・北海道教育委員会）

2023年10月26日 SNSを活用した相談事業協議会（水口）

9 メディア等の取材

- ・8月21日 北海道新聞「夏の全国キャンペーン」（水口）

IV 各部の活動報告

研修部

- ・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日の運営等
- ・19期認定式及び企画渉外部と合同で全体交流会の実施
- ・Zoomにて研修部会の実施（計6回）6月15日（木）8月3日（木）、9月19日（火）、10月24日（火）、11月14日（火）、12月21日（木）

受け手電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・全体会に関すること
- ・電話部会議開催 4月12日（水）・6月14日（水）・8月9日（水）・9月20日（水）
11月1日（水）・2月21日（水）

支え手電話部

- ・支え手電話部部会を9回実施し、支え手の役割について話し合う中で共通認識を深め、支え手の資質向上を図った。
- ・「チャイルドラインほっかいどう 緊急時対応マニュアル」を改訂し、運営委員会に報告した。
- ・2月27日（火）の支え手会議で新たに2名の支え手を認定し、運営委員会に報告し了承された。

広報部

- ・ホームページの更新（更新等は社福法人HOPに委託）
- ・カードを学校等に発送配布

企画渉外部

- ・7月11日 研修部との全体研修会（交流会）
- ・9月2日 コープ社会福祉基金 助成金贈呈式&活動交流会参加（川口谷代表・早崎）
2023年度亀鶴助成30万円
- ・10月10日 会員拡大のため教育系大学・短大教員へリーフレット送付
- ・10月29日 20周年記念講演会 受付業務
- ・11月17日 トラストライオンズクラブ主催チャイルドライン支援音楽祭参加
募金箱設置
- ・11月23日 北海道日本ハムファイターズ ファンフェスティバル参加
- ・トラストライオンズ例会参加（10月18日、12月20日）
- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 店頭活動
4月、6月、8月、9月、10月、12月、各11日 6回参加
今年度贈呈額 73,700円